

人孔底板施工例



人孔側壁施工例



人孔プロテクター

(超高分子量ポリエチレン ウルモラー[®] 使用)

「人孔プロテクター」は、雨水入孔の底板や側壁の内側に取り付けて、雨水排水中の砂等による人孔内面の浸食の低減や破損を防止し、耐用年数を飛躍的に延長させる人孔用保護部材です。

ウルモラー[®]とは、超高分子量ポリエチレン樹脂を原料とした成形品で、耐衝撃性・耐摩耗性・滑り特性・耐低温性等の優れた特性をもったエンジニアリングプラスチックです。

特長

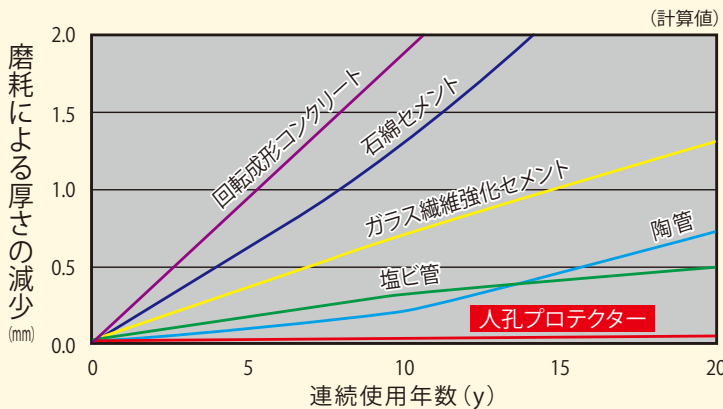
●優れた耐摩耗性

「人孔プロテクター」を底板及び、側壁に取り付ける事により、砂等による摩耗が大幅に改善され、長期の使用が可能になります。

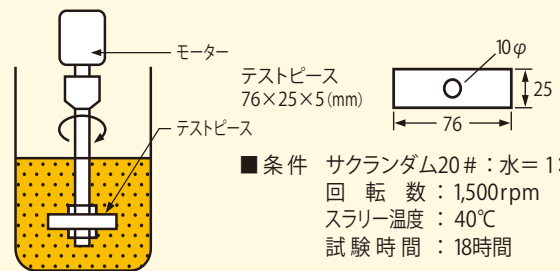
磨耗性の比較

下水管の磨耗性比較

サンド・アブレーション法による耐摩耗性試験結果より、各材質の下水管における磨耗量を比較すると、以下のグラフのようになります。



サンド・アブレーション法



●優れた耐衝撃性

−100℃の環境下でも高い衝撃強度を有する樹脂が、雨水による底板、壁の破損を防止します。

●易施工性

比重が軽く、部品が軽量な為、施工が楽に行え、取り付けも簡単です。

基本仕様

品名	品種	品番	寸法 (mm)		分割数	参考重量 (kg/セット)	付属アンカーボルト数 (本)	適用人孔
			直径	厚さ				
人孔プロテクター	JPU	001	890	15	2分割	8.8	16	内径 900mm 円形
		002	1190	15	3分割	15.7	28	内径 1200mm 円形
		003	1490	15	3分割	24.6	41	内径 1500mm 円形
		004	1790	15	4分割	35.5	56	内径 1800mm 円形
		005	1990	15	4分割	43.8	50	内径 2000mm 円形

※ 側壁に取り付けるタイプについては、別途お問い合わせください。

構成部材



本体：ウルモラー UP140



付属品：アンカーボルト



付属品：専用ハンドホルダー

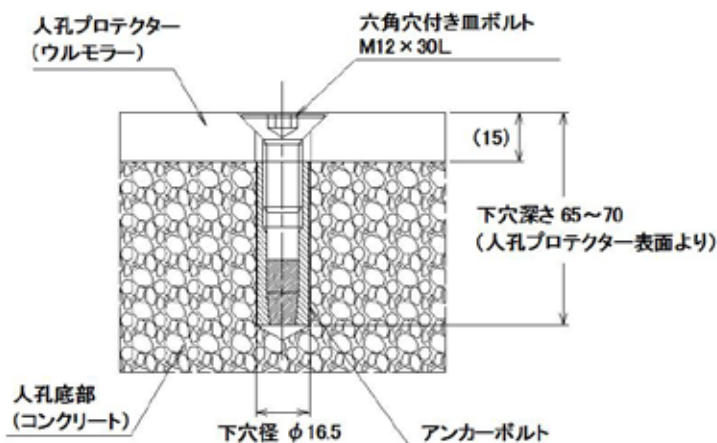
※付属品のアンカーボルトと専用ハンドホルダーは、廃番等で仕様変更になる場合があります。

施工方法

- ① 孔底部のコンクリート表面及び人孔プロテクター裏面をきれいに清掃します。
- ② 人孔底部が平滑であることを確認し、平滑でなければモルタル等を充填し安定させます。
- ③ 人孔プロテクター（1組すべて）を仮置きし、安定することを確認します。安定しない場合は②の作業を繰り返してください。この時、人孔プロテクターの表裏を間違えないように注意してください。（皿ねじ用の加工が施している面が表です。方向はありません。）
- ④ 配置通りに仮置きした後、アンカーボルト取付穴の中央部分にφ16.5のコンクリートドリルを用いて、穿孔長65～70mm（人孔プロテクター表面より）の下穴を垂直に穿孔します。穿孔によるコンクリートくずは、エア等で清掃し穿孔穴をきれいにしてください。
- ⑤ アンカーを軽く叩いて下穴に挿入し、専用ハンドホルダーを使用して段部がアンカーの頂部に達するまで打ち込んでください。
- ⑥ 六角レンチを用いて皿ボルトを締めこみ、取り付け施工完了です。
- ⑦ 取り付け直後は人孔プロテクターの弾力性で固定されていますが、時間が経過すると底面の凹凸になじむ形で、皿ボルトが緩むことがあります。そのような場合には増し締めを行ってください。

※アンカーボルトの仕様変更により、施工方法が変更になる場合があります。

〔人孔プロテクター取り付け部詳細〕



警告

- 雨水人孔を保護する目的以外には使用しないでください。
- 加工や改造をして使用しないでください。
- 人孔プロテクターの上に乗る際は、滑りやすいので転倒しないように十分注意してください。
- 工具使用の際は、その取扱説明書を熟読の上、安全に十分注意してください。

注意

- 運搬・設置の際など、製品を落としたり投げたりしないでください。
- 斜めに立てかけたりすると変形することがありますので平置きで保管してください。
- 直射日光の下や高温になる場所で保管しないでください。
- 過度の衝撃や応力を加えないでください。
- 火気を近づけないでください。